

# 豊橋市まちなか図書館(仮称) 整備基本計画を策定しました

問い合わせ：まちなか図書館整備推進室 (☎ 55・8102)

背景

第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画

魅力的な公共空間を整備し、中心市街地のにぎわいに広がりを持たせる

豊橋市図書館整備構想

豊橋駅東口地域における図書館整備を目指す

再開発ビル内へのまちなか図書館の導入決定 (平成 25 年度)

【まちなか図書館の整備】

快適さや使いやすさの追求 ▶▶ 中心市街地に来た人が気軽に立ち寄れる施設  
商業・サービス業との融合 ▶▶ 立地をいかした魅力あるサービス提供

位置づけ

効果

再開発エリアの拠点性の向上・中心市街地のステイタスの向上

## 中心市街地のにぎわいの創出

今こそ、  
まちなかに図書館を



これからの社会は、少子高齢化や人口減少、産業構造の転換が進み、東京など大都市圏と地方都市との役割分担が一層進められようとする中で、私たちのまち豊橋においても、市民が生き生きと輝いて暮らせ、持続可能なまちづくりが必要とされています。

近年、図書館の持つ可能性は、ビジネス支援、まちづくりや人づくりの核を担うなど、広く人々に認知され、さまざまな役割が求められています。

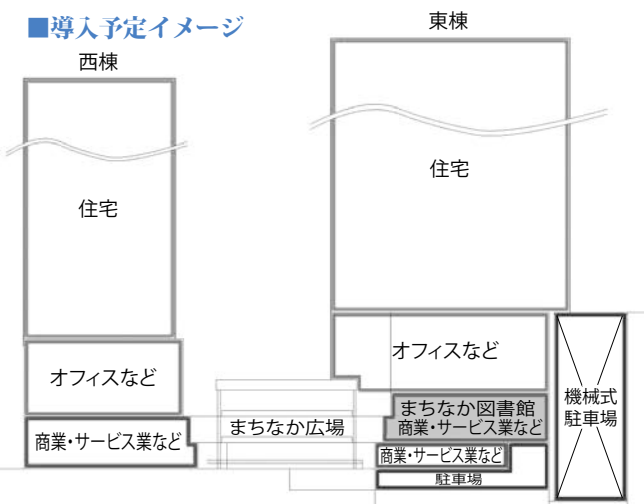
## 図書館の概要

市では、「まちなか図書館(仮称)」を駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業により建設される再開発ビル内に整備する予定です。この立地をいかし、図書館の持つ可能性を十分に発揮し、中心市街地の諸機能と連携した魅力ある施設として、にぎわいの創出を図るだけでなく、次代を見据え、地域の強みや課題を知る豊橋のまちづくりを担う人材の育成を図る場を目指します。

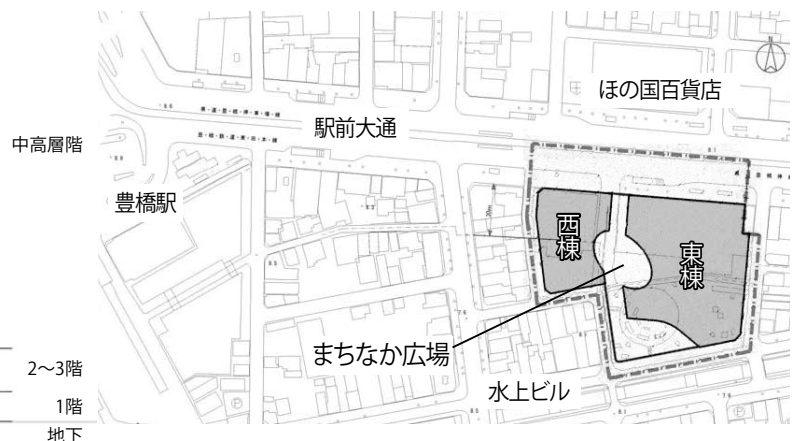
再開発事業の主体は、土地・建物所有者からなる再開発組合(予定)で、名豊ビル・開発ビル・狭間児童広場などのエリアに東棟・西棟を建設予定です。2棟の間には多目的に使える「まちなか広場(仮称)」を設け、まちなか図書館は、広場や商業・サービス業などと連携した魅力的なサービスを提供していきます。

**導入規模** 約3〜4千㎡ **導入予定位**  
**置** 東棟の2〜3階部分を基本(下図)  
**目標利用者数** 年間50〜70万人 **蔵書**  
**数** 10万冊程度

### ■導入予定イメージ



### ■再開発エリア(駅前大通二丁目地区)位置図



※施設構成などは現在の構想案であり、今後変更が生じる場合があります

## 基本理念

# 世界を広げ、まちづくりに繋げる “知と交流の創造拠点”

## 基本方針

01

新たな世界を発見し、創造する

サービス例

館内を巡り、つい手に取ってみたいくなる本のディスプレイ

02

交流、活動を通して、人と人が繋がる始点となる

サービス例

趣味や健康づくりなどの参加型ワークショップの開催

03

気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所となる

サービス例

カフェやラウンジなど気軽に立ち寄れ、くつろげるスペースの提供

04

再開発エリアや中心市街地の諸機能などと連携する

サービス例

書店、飲食店などや、こども未来館こここ、穂の国とよはし芸術劇場「プラット」と連携した取り組みの推進

05

次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる

サービス例

産業、福祉、教育、環境など各分野の市民、専門家を招いた講演会やサイエンスカフェなどの開催



## どんな施設なの？

館内を大きく5つのゾーンとして捉え、特徴や役割を持たせることで、来館者それぞれが自分のスタイルで利用できる魅力的な施設づくりを進めていきます。



まちなか図書館の整備に関する情報や意見の募集については、まちなか図書館整備推進室ホームページ (<http://www.city.toyohashi.lg.jp/18046.htm>) で公表し、随時更新しています。ぜひ、ご覧ください。また、ご希望に応じて、地域などで自主的に開催するまちなか図書館についての学習会（団体向け）に職員が出向きます。詳細は、お問い合わせください。

開館（平成31年度中を予定）

内装などの工事（備品設置など）

実施計画（空間設計など）

基本計画（平成26年度）

今後の取り組み  
平成27年度は、この基本計画を踏まえ、具体的なサービス、施設整備、管理運営などの内容を検討し、実施計画を策定します。これからは広く市民のみなさんの声を集めながら計画づくりを進めていきます。